

研究承認番号：2019-06

研究課題名：

人工膝関節置換術後の歩行能力を予測する臨床予測指標開発のための予備的研究

研究期間：

倫理審査承認日～2020年12月31日

対象となる方：

変形性膝関節症の患者さんで、2010年4月1日から2019年3月31日の間に人工膝関節置換術を受けた方

案内文

鈴鹿回生病院及び鈴鹿回生病院附属クリニックでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ等の窓口」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究の目的・意義]

変形性膝関節症の発生頻度は極めて高く、高齢人口の増加に伴い人工膝関節置換術の適応となる患者数はさらに増加するとされています。本研究の目的は手術前の機能から手術後の歩行能力を予測する「臨床予測指標」の開発を目的としています。臨床予測指標は患者さんの意思決定を支援し診断や疾患の予後予測に用いられます。手術前から手術後の機能を予測し事前に把握することで、術後の理学療法プログラムを個々の状態に応じて適切に立案・施行することができ、効率的で効果的な理学療法を提供することが可能となります。

[研究の方法]

当院で人工膝関節置換術を受けられた患者さんのカルテ情報より、手術前後の評価結果を使用します。

カルテ情報：診断名、性別、年齢、体重、身長、既往歴、併存症、画像所見(単純X線、CT)

検査結果(関節可動域・筋力・痛み・歩行能力・バランス能力)

既存のデータを使用するため、何らかの負担が生じることはありません。またデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

研究資金については、営利団体等との利益相反はありません。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。なお、本研究は鈴鹿医療科学大学大学院の研究協力を受けていますが、研究協力施設へデータを提供する場合は、匿名加工情報のみを提供し、個人を特定できる情報は提供しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。お名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。保管期間を過ぎたデータは適切な方法で破棄します。

掲載期日：2020年12月31日まで

問い合わせ等の窓口

研究責任者 鈴鹿回生病院 リハビリテーション課 栗原健太

TEL：059-375-1212 FAX：059-375-1717